

自信をもって活動する子どもを育てる生活科指導（資料編）

振り返る活動にポートフォリオを取り入れて

特別研修員 筑井 みつ子 （富士見村立時澤小学校）

指導計画細案（全20時間予定）

<見取りの視点・・・ 関心・意欲・態度 思考・表現 気付き>

過 時 程 間	学 習 活 動	支 援 及 び 留 意 点	見取りの視点 (見取りの方法)
ふ れ る	<ul style="list-style-type: none"> ・家の人に頼まれた物を買いに行くということを知り、行く先や交通手段を考える。 ・バスについて知っていることを出し合う。 ・学習のねらいについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで買い物に行く」という話し合いをすることで、行き先や交通手段などの条件を考えられるようにする。みんなで一緒に品揃えの多い店に買い物に行くためには、バスを利用してスーパーに行けばよいことに気付くようにする。 ・バスについて知っていることをできるだけたくさんワークシートに書くように言葉かけをする。 ・書いたことを発表させ、板書していく。板書事項を見ながら、これでバスに乗れるか投げかける。そして、分かっているようで分からないことが多いことに気付くようにする。 ・自分たちでバスに乗るにはどうしたらいいかを問い、調べる必要性があることを意識付ける。 ・この学習を通して「～したいなあ」「～できたらいいなあ」という自分のめあてをもてるように、なりたいカードを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の発問に対して発言しようとしている（発言、つぶやき）。 バスについて知っていることを書いている。 自分のめあてがもてる（なりたいカード、行動観察）。
追 究 す る	<ul style="list-style-type: none"> バスについて調べる。 （１）バスを利用した経験を話し合う。 （２）調べる計画を立てる。 （３）調べる。 （４）バスについて調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用の仕方を紹介させ、出されたことを教師が短冊に書き込み、利用の順序を確認するために話し合い、整理して並び換える。 ・バスに乗るのに不安なことは何か。また、どんなことが分かれば自分でバスに乗れそうか問いかける。 ・生活班ごとにどんなことを調べたらいいか意見を出し合い、何をどこでどのように調べるのかを相談した上で、計画書を作るように助言する。 ・調べ方や分からなくて困っていることに関しては、赤色のこまっただよカードに記入し、他の班や友達からの助言がもらえるように、全体によく見える所に掲示する。 ・バスのしくみや運転手さんの仕事を調べるために、運転手さんに話をしてもらう。 ・バス停に調べに行くときの安全面などの約束を確認する。 ・調べて分かったことを１枚１枚、分かったよカードに書いてファイルしておくように助言する。 ・次に調べたことを元に道具を作り、バスごっこをすることを、知らせておく。 ・乗るために必要な手順のめやすとなることを示した大きな図 	<ul style="list-style-type: none"> バスの利用の仕方について発表したり、友達の話をよく聞いたりしている（行動観察）。 何を調べたらよいか、気付いている（計画書）。 調べる方法を考えている（計画書）。 進んで調べている（行動観察・分かったよカード、メモ）。 チェック項目に沿って調べたことを振り返る（行動観察、分かったよカード）。 分かったことと、

	たことを振り返る。	<p>を黒板に提示し、それに照らし自分のポートフォリオを見て、分かったことには青シールを貼るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班として分かっていることを確認するために、自分のポートフォリオで青シールが貼ってあるものを班の中で発表し合う。 ・各班で分かったことを発表し、黒板に提示した図の分かった項目に、班別に色の違う付箋を貼っていく。 	まだ分からないことに気付いている（振り返りカード）。
追究する	<p>バスごっこに必要な物を作る。</p> <p>1 (1) 必要な物を考える。</p> <p>3 (2) バスごっこに必要な物を作る。</p> <p>2 (3) 困ったところ足りないところを作りかえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各班で調べたことからバスごっこをするには何が必要か考えて発表させる。 ・何を作りたいのか、希望するものでグループ編成をする。 ・それぞれが設計図を書き、そのためにどんな材料と道具が必要か考えた上で、班の中で相談する。 ・用意した材料と道具で設計図をもとに自分なりに作るようにする。バスごっこでどのように使われるか、その働きや役割を考えて作るように助言する。 ・できあがったら試行させ、作ったものと自分が考えたものが一致しているかどうか確かめるようにする。 ・班ごとにできあがったものを発表し、どんなときに使うか使い方を説明したり、試したりする。友達から出た質問・意見を教師が付箋にメモしておき、班に手渡す。 ・自分の感想を振り返りカードに書き、どのように改善するか考えるようにする。 ・メモを基に調べ直して、作り変えたり、付け足したりしながら再試行する時間を確保する。 	<p>前時までの調べ学習からバスごっこに必要な物が分かる（発言）。</p> <p>何を作りたいかが分かり自分から材料や道具を用意している（行動観察、設計図）。</p> <p>バスごっこに使えるように考えて作っている（行動観察、設計図、製作物）。</p> <p>自分で試してみたり、友達に意見をもらったりして直すところに気付く（振り返りカード、行動観察）。</p>
追究する	<p>バスごっこをする</p> <p>2 (1) バスごっこをする。</p> <p>1 (2) もう一度バスごっこをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがバスを利用した経験を出し合って乗り方をまとめた表を見ながら、バスごっこをすることを知らせる。 ・自分たちが作ったバスを実際に室内で走らせてバスごっこをすることで、うまくいったこと、失敗したこと、自信がないことなどを一人一人が体験できるようにする。 ・バスを動かす役と客になる役と見ている役を交代で行い、どの役も体験できるようにする。 ・バスごっこをしてうまくいったこと、分からずに困ったこと、失敗したことなどを意識するために、体験後に色別シールを自分のパスポートに貼る。 ・バスごっこをしてみてもうまくなかったかどうか発表し、不安や失敗の点に関しては、みんなで解決できるように教師がクラス全体により方法がないか投げかける。 ・1回目でうまくいかなかったところが解決できるように、2回目のバスごっこをするように言葉をかける。 	<p>バスごっこの手順が分かり、意欲的に参加している（行動観察）。</p> <p>うまくいったこと、困ったことを発表している（行動観察、パスポート）。</p> <p>もっと正しい乗り方や自分の知らなかった乗り方やマナーに気付く（行動観察、振り返りカード）。</p>
まとめ	2 (1) 本物のバスに乗って買い物に行く。	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットまでの乗り方を確認し、バスごっこで覚えたみんなで正しくバスを利用する技能を生かして出かけることを投げかける。 ・買い物計画書を見て何を頼まれているのか確認をするように 	友達や教師を頼らず自分でバスに乗ろうとしている（行動観察）。

め る		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物をする時間、店での注意を確認する。 ・班ごとに協力して往復の乗降、買い物ができるように励ます。 ・本物のバスに乗って、気がついたことをはっけんカードにメモしておくように助言する。 <p>3 (2) 自分のポートフォリオを基に分かったことを絵や文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに調べたり、体験したりしたことを、家の人に知らせようと投げかけ、分かったことを絵や文にまとめるようにする。 ・まとめたものを家に持ち帰り、家の人から助言や感想を書いてもらうようにする。家庭には予め依頼文を渡し、趣旨を理解してもらっておく。 ・自分のポートフォリオを見て、この学習全体を通して自分ができるようになったことを振り返り、感想を書くようにする。 	<p>安全に気を付けて正しい乗り方ができる(行動観察)。</p> <p>安全で正しいバスの乗り方や運転手さんの様子が分かる(行動観察、はっけんカード、絵や文)。</p> <p>満足感をもつことができ、今度は自分で乗れそうだという自信や意欲がもてたか(行動観察・作文)。</p>
--------	--	--	--

授業展開

1 「追究する」の過程における授業展開(6時間目/20時間計画)

ねらい

バスに乗るために調べたことをめあてを基に振り返ってみることにより、自分がすでに調べて分かっていることは何か、まだ調べなければならないことは何かということが分かる。

評価規準

関心・意欲・態度：今まで調べたことで行けそうかどうかを、チェック項目と自分の調べたものを照らし合わせて確かめようとしている。

思考・表現：「どうやって乗るのか」のチェック項目と自分のポートフォリオを照らし合わせて、すでに調べてあるものに青シールを貼ることができる。

気付き：自分はあと何を調べなければならないのか気付く。

準備

児童：ポートフォリオ(分かったよカード、家で聞いてきたことのメモ、時刻表の写し等)

教師：青シール、「どうやって乗るのか」をチェックするための子ども用プリント、子ども用プリントを拡大した図、付箋紙6色

展開

評価の観点； 関・意 思・表 気付

時間	学習活動	指導上の留意点	評価(評価方法)
5	1. 本時のめあてをつかむ。	<p>今まで調べたことで、本当にバスに乗れそうか、みんなで確かめてみることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗る具体的なイメージを子どもたちがつかめるように、学校から目的地までの経路を示した図を用意する。(子ども用、黒板用) ・図の中に「どうやって乗るのか」を必要な手順に沿って確かめられるようにチェック項目を入れる。 <p>チェック項目 【バスに乗る時刻】【乗るバス停の名前】 【何行きに乗るのか】【料金、乗降の仕方】</p>	

		【降りるバス停の名前】 【帰りのバスについても同様の項目】	
10	2. 自分の「分かったよカード」に青いシールを貼る。	子ども用の図や黒板の図を見ながら、順番にチェック項目の答えに該当する「分かったよカード」や家で調べたメモに青いシールを貼るように助言する。 ・青いシールを各自に手渡し、自分のポートフォリオをめくって、チェック項目で分かっているものにシールを貼るように指示する。	チェック項目に従い、進んで自分の調べてきたことを確かめようとしている（行動観察）。
25	3. 班で分かっていることを確かめる。	バスに乗っていく班になり、シールを貼った自分のカード類をつきあわせて、お互いに何が分かっているのかを確かめる。 ・班の中で、それぞれが分かっていることを順番に言って、班として分かっていることを確かめ合うようにする。 ・班長が、班で分かっていることをクラス全体に発表する。 ・班長が発表した項目について黒板に示した図に、教師が付箋紙を貼っていく。 ・付箋紙は、どの班がその項目を調べてあるかを一目で区別できるように班ごとに色を変える。	チェック項目に沿ってシールを貼ることができる（行動観察、分かったよカード）。 班の友達と協力して分かっていることを確かめ合っている（行動観察）。
5	4. まだ調べ足りないことを考える。	付箋紙が貼ってある黒板の図を見ながら、自分たちの班がまだ調べていないのは何か考えるようにする。	分かったことと、まだ分からないことに気付く（振り返りカード、発表）。

2 「追究する」の過程における授業展開（8・9時間目 / 20時間計画）

ねらい

バスごっこに必要な物を協力して作る。

評価規準

関心・意欲・態度：自分は何を作るかが分かり、自分から材料や道具を用意して、ごっこ活動に必要なバスや他の道具を友達と協力して作ることができる。

思考・表現：作っている物の使われ方を考え、バスごっこで使えるように工夫して作ることができる。

気付き：自分の作っている物がどんな役目をするのか気付く。

準備

児童：はさみ、のり、自分の作る物の設計図、材料となる段ボール、空き箱、

教師：必要な装置を書いた短冊、共有で使う道具類、道具使用時の指示カード、

展開

評価の観点； 関・意 思・表 気付

時間	学習活動	指導上の留意点	評価（評価方法）
	1. 本時のめあて	前時に書いた設計図をもとに、バスごっこに	

10	をつかむ。	<p>必要な物を作ることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に話し合った必要な装置の短冊を提示したあと、自分の作る物を児童に発表させながら、一人一人に確かめる。 <p>【バス停】【整理券】【運賃箱】【運賃表】 【整理券発行機】【吊革】【合図ボタン】 【バス本体】【行き先表示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が作る物は、バスごっこの中でどのように使われるのかを数人に発表させ、利用者とのかわりを意識付ける。 ・本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> バスごっこでつかうものを作ろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・製作に当たっての注意事項を知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> 製作時間（12時になったら後片付け） つかってよい道具（道具コーナー） つかってよい場所（教室、廊下） 約束（安全面、協力して作る等） ・共有で使う道具は道具コーナーを作り、使う時の指示カードを付けておき、その指示通り使うことを知らせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">— 指示カード 1 —</p> <p>自由に使いましょう （ボンド、セロテープ、ガムテープ、マジック、輪ゴム、画用紙）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">— 指示カード 2 —</p> <p>先生に聞いてから使いましょ （段ボールカッター、きり）</p> </div> </div> 	<p>自分の作るものが分かる（挙手・発表）。</p> <p>使われ方が分かっている、発表できる（発表）。</p> <p>何を作りたいか分かり、自分から必要な材料や道具を用意している（設計図、行動観察）。</p>
70	2. 用意した材料と道具で設計図を基に自分なりに作る。	<p>設計図を基に、グループで協力して作らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループを回り、どのように作りたいのか、その装置・設備はどんな役目があるのかを質問し、本時のめあてをよりはっきりさせていく。 ・できあがったら試行させ、作った物と自分が考えた物が一致しているかどうか確かめるようにする。 	<p>自分の作っている物がどんな役目があるのか気付いている（発言・行動観察）。</p> <p>バスごっこに使えるように、考えて作っている（行動観察・発言・製作物）。</p>
10	3. 本時の活動を振り返り、次時の活動を予想する	<p>作ってみて自分たちでよくできたと思うところを作品を見ながら考えさせ、次の時間は、グループごとにできあがった物を発表し、試してみることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったところ、うまくいかないところは「こまったよカード」にメモをしておくように伝え 	<p>うまくいかないところに気付く（こまったよカード）。</p>

	る。 ・バスごっこに使えるように考えて作っていた作品をいくつか紹介し称賛することで、改良への意欲付けをする。	次時の活動を考えることができる。(発言、会話)
--	---	-------------------------

3 「追究する」の過程における授業展開(15時間目/20時間計画)

ねらい

前時のバスごっこを振り返り、うまくいかなかったところが解決できるように、もう一度バスごっこをすることができる。

評価規準

関心・意欲・態度：自分のよくできたところ、うまくいかなかったところを考え、意欲的にバスごっこに参加しようとする。

思考・表現：自分のうまくいかなかったところを発表したり、友達の困ったことについてアドバイスをしたりすることができる。前回うまくいかなかったところに気を付けてバスごっこをすることができる。

気付き：友達の発表を見たり、聞いたりして、もっと正しい乗り方や自分の知らなかった乗り方やマナーに気付く。

準備

児童：パスポート、紙で作ったお金

教師：シール(青、赤、黄)、バスごっこに必要な道具

展開 評価の観点； 関・意 思・表 気付

時間	学習活動	指導上の留意点	評価(評価方法)
5	1. 本時のめあてをつかむ。	<p>前回のバスごっこでうまくいかなかったところが、解決できるようにもう一度バスごっこをすることを知らせる。</p> <p>・前回のバスごっこのパスポートを見て、チェック項目に赤や黄色のシールが貼ってある子に、どこがうまくいかなかったか、どきどきしたか発表させる。</p> <p>* 赤や黄色のシールが貼ってあった項目</p> <p>バス停でバスを止める。 降りたいバス停の案内の時にボタンを押す 料金表を見てお金の用意をする。 お礼を言って降りる。 安全な所でバスが行くのを待つ。</p>	本時のめあてがつかめたか(挙手・発表)。
5	2. 解決策を考える。	<p>うまくいかなかったところについて、よい方法がないか投げかけ、アドバイスを求める。</p> <p>・今までに出なかった安全面やマナーに触れた発言に関しては、とくに称賛する。</p> <p>・パスポートが全部青だった子に、手本となる乗り方を試みさせる。</p>	友達の発表を見たり聞いたりして、もっと正しい乗り方や自分の知らなかった乗り方やマナーに気付く(行動観察・パスポート)。

30	3. バスごっこをする。	<p>前回うまくいかなかったところが、すらすらできるように、もう一度バスごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係分担と手順を確認する。 ・見ている子は、どの班ができているか採点する。 ・パスポートと紙のお金を持ってバスに乗る。 ・バスを降りたら、パスポートにシールを貼る。 ・赤や黄色のシールがついている子にどこがうまくいかなかったか、その原因は何か聞く。パスポートが全部青にならなかった子だけ、もう一度、バスごっこをする。 	<p>前回うまくいかなかったところに気を付けてバスに乗ることができる(行動観察)。</p> <p>自分のバスごっこの乗り方を振り返ってシールを貼ることができる(行動観察、パスポート)。</p>
5	4. 本時の活動を振り返り、次時の活動を予想する。	<p>いよいよ次の時間は実際にバスに乗って出掛けることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスごっこの感想を数人に発表させる。だんだんできるようになってきて嬉しいという気持ちに共感するとともに、パスポートの青色が増えたことを褒めて、自信を持たせ、本当のバスに乗ることへの意欲を高める。 	<p>次時の活動を考えることができる(発言、会話)。</p>

4 「まとめる」過程における授業展開(20時間目/20時間計画)

ねらい

ポートフォリオを基にこの単元の学習全体を振り返り、自分ができるようになったことに気付いて感想を書くことができる。

評価規準

関心・意欲・態度：ポートフォリオを見てこの単元の学習全体を振り返り、進んで感想を書こうとする。

思考・表現：この学習を通して自分ができるようになったことを考え、感想を書くことができる。

気付き：この学習を通して自分ができるようになったことに気付く。

準備

児童：ポートフォリオ

教師：原稿用紙

展開

評価の観点； 関・意 思・表 気付

時間	学習活動	指導上の留意点	評価(評価方法)
5	1. 本時のめあてをつかむ。	<p>「バスに乗って買い物に行こう」の学習全体を通して自分ができるようになったこと、分かったことについて感想を書くことを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人に、自分がこれだけできるようになったよと報告するつもりで書くように助言する。 	
10	2. 家の人の感想を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・家の人の感想の読み聞かせをする。 ・家の人からの称賛や励ましの言葉を意図的に 	<p>友達の家の人の感想もよく聞いている</p>

		取り上げて読む。 ・家の人の言葉をもらってどんな気持ちになったかを意識させるために、子どもに質問する。	(行動観察) 自分の気持ちを発表する(発表)。
25	3. ポートフォリオを基に学習全体を振り返って感想を書く。	ポートフォリオをめくって、この学習を始めた頃の自分のことを、思い起こすようにする。 ・単元の最初の頃の自分と、今の自分とを比べて考えられるように、どんな活動をしてきたかを黒板に大まかに示す。 ・なかなか書き始められない子には、ポートフォリオと一緒に見ながら、学習してきた過程を振り返らせ、どんなことができるようになっていったのか確かめるようにする。	自分から感想を書こうとしている(行動観察、作文)。 できるようになったことに気付く(つぶやき、作文)。 感想を書くことができる(行動観察、作文)。
5	4. 友だちの書いた感想を聞く。	満足感や達成感が表れている感想を取り上げ、教師が読む。	

学習カード

資料1 家の人にたのまれたものを買に行こう

家の人にたのまれたものを買に行こう。
(月、日、年)

2年 組 名前()

どこに行ったらいいかな?

わけ

どうやって行ったらいいかな?

わけ

みんなで行くところ

資料2 なりたいカード

バスにのって買い物に行こう
2年 組 (月、日、年)

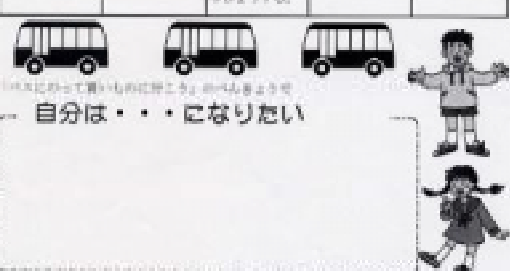
どんなことをべんきょうする?

めあて

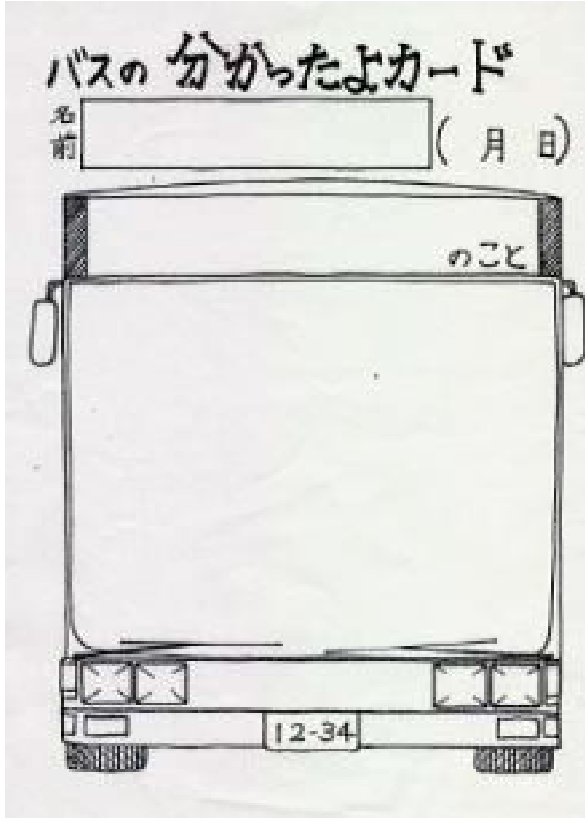
①	②	③	④	⑤
ぼすんでマン	しらべマン	ぼとけマン	ほっぺんマン	きょうりマン
ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン ぼすんでマン	しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン しらべマン	ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン ぼとけマン	ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン ほっぺんマン	きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン きょうりマン

バスにのって買い物に行こう。めあてをきょうり

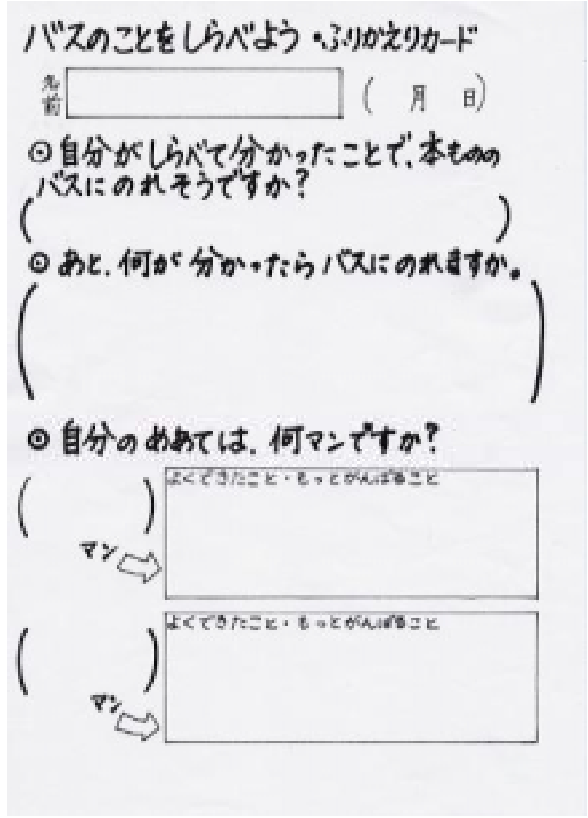
自分は・・・になりたい



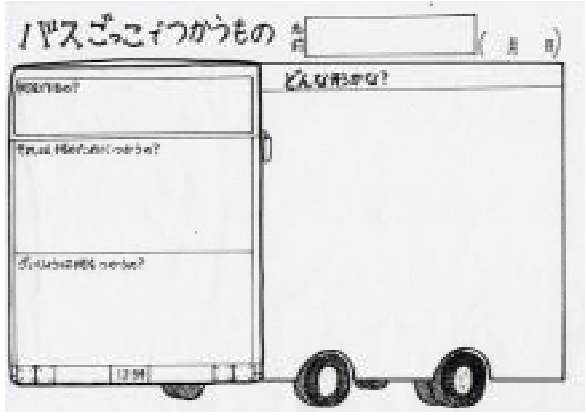
資料3 バスの分かったよカード



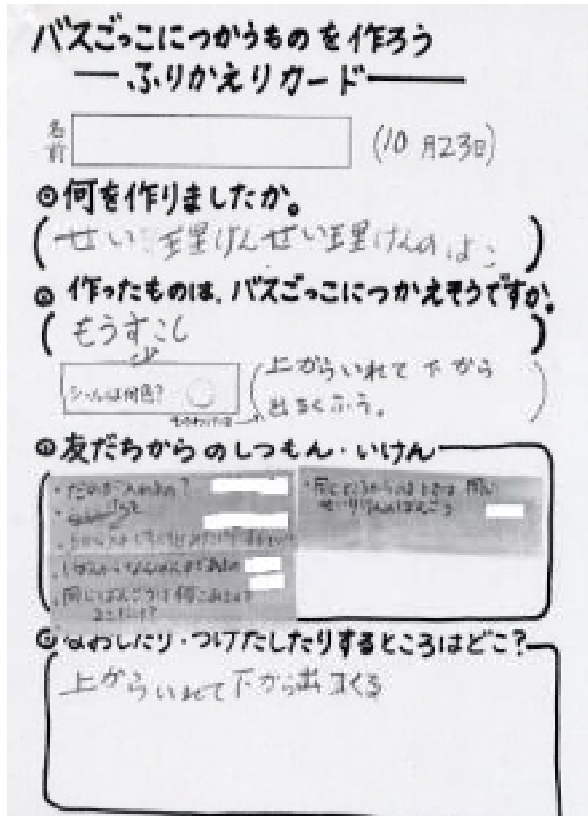
資料4 バスのことをしらべよう(ふりかえり)



資料5 バスごっこでつかうもの(設計図)



資料6 バスごっこにつかうものをつくろう



資料7 おうちの方へお願い

2年2組 保護者の皆様
おうちの方へお願い

平成14年11月8日

「バスに乗って楽しい旅行」の学習では、ご協力ありがとうございました。

おうちの方の協力がいっぱいありました。子どもたちは実際にバスに乗って楽しい旅行に行くことができました。さて、10月から始めたバスの学習も、本日の学習も、まとめて終了になります。

今後の学習では、コンピュータに調べたことなどを整理しながら、自分の学習を振り返るという方法をとって進めます。

本日、生活科の学習でアマガイも子どもたちにも馴染ませます。バスに乗って実際に楽しい旅行に行くまでの学習の経過をおうちの方に見ていただき、お子さんへ、おうちの方の学習プリントを例にしながら「今までのがんばりを褒める褒め言葉やアドバイスのような言葉を添えて」書かせるも結構ですので、ひとこと書いてもらえればと思います。

おうちの方の依頼は、「実際のバスに乗ってみたいことや考えたこと」の下の部分をお願いします。その部分だけ見れば十分結構です。書き付けは手紙としてお送りません。お子さんからの言葉をお返しいしません。

なお、学習プリント類は10月、バスで学ぶための資料類、バスガイド、運転手さんの話をききましょう。おうちの方へ、見本カード、パンきょうをしてください。などが入っています。

お礼申し上げます。お返しの様子をまたまたフィードバックさせていただきます。

2年2 組

資料8 バスの勉強のまとめ

バスのパンきょうのまとめ

名前 [] (月日)

る線バスのパンきょうをして、
思ったことや考えたこと

12-34

おうちの人から ()へ